

森下さちこ ニュース

2006年
4月号



輝け! 憲法9条 平和のつとめ

5月13日(土)

県民文化会館 午後2時~4時



作家であり「九条の会」呼びかけ人の澤地久枝さんが憲法九条への熱い思いを語ります。協賛企画「ぞうれっしゃがやってきた」もお楽しみに!

(託児所あり、参加協力券が必要です)

5月の日程

1日(月) **メーデー** 和歌山城西の丸広場

午前9時30分

10日(水) **芦原診療所生活相談日**

午前9時~10時30分

11日(木) **生活相談日** 午後1時~4時

13日(土) **平和行進** 市役所前広場

午前10時より

輝け! 憲法9条平和のつとめ

午後2時~

18日(木) **生活相談日** 午後1時~4時

19日(金) **ドキュメンタリー映画**

「時代を撃て・多喜二」

第1回上演 午後2時30分より

第2回 午後7時より

25日(木) **生活相談日** 午後1時~4時

4月もあっという間に過ぎようとしています。お花見はいかがでしたか。例年になく雨が多くて、中止になったところも多かったのではないのでしょうか。それでも市内を歩いたり車で移動したりするだけであちらこちらに結構ソメイヨシノはあるもので、十分楽しませてもらったようにも思っています。これからは新緑の季節。若葉がぐんぐん伸び、田に水が入るときでもあります。若さという点では少々難がありますが、元気さはまだまだのつもりです。子どもたちに負けないように毎日を過ごしたいと思っています。 和歌山市鳴神 1145-6 TEL:474-6556

森下さちこの2月定例市議会報告

みなさんの願いや 要求を議会へ!

要求を議会へ!

2月24日から始まった2月定例議会は3月27日に終了しました。日本共産党議員団は提案された議案のうち約半分にあたる新年度予算と23議案に反対しました。

これまで市議団として取り上げたりあるいは市民のみなさんから要求のあった直川用地の活用、学童保育の拡充、貴志川線用地の取得などには賛成しました。

紀ノ川大堰の計画変更で

直川用地はどうなる?

紀ノ川大堰は大阪へ水を分けることや洪水を防ぐ治水を目的として1993年から工事が始まりま

した。治水のためには水の容量を増やす必要があり、そのために現在の新六カ井堰を撤去し底にたまったヘドロを取り除くという計画になっていました。

(裏面につづく)

こんにちは! 藤井健太郎です



和歌川河口の片男波で見つかった貝毒について4月18日に採取したアサリを検査した結果、国の規制値を下回りました。これまで3回採取して検査が行われ、次第に毒性が弱まってきました。貝毒の原因となる植物プランクトンは和歌浦湾一帯では検出されておらず体内毒素も弱まるのではとみられていました。国の規制値を下回ってから2週連続して2回規制値を下回ると安全宣言が出されることになっています。連休明けになってしまいましたが、今期の潮干狩りに期待がもてそうです。

貝毒の原因となる植物プランクトンは、サザエやアワビなどの巻き貝、魚類、エビ類、海藻類には影響を与えないというから不思議です。

昨年は県下で不漁が続き、エチゼンクラゲも紀伊水道で発見されました。漁業をとりまく環境にも注視していきたいと思えます。



森下ちのの2月定例市議会報告

(表面から)

そして同時に大量の水が流れる時にその量や勢いに耐えられるようにJR鉄橋の架け替え工事が必要で現在その工事が最中です。すべての工事が完了するのは2009年という予定になっていました。

ところが突然、今回県に計画変更の議案が提案されました。変更の内容は新六か井堰を全部取り除かず一部残すというものです。大阪がほしいといっていた水の必要量を二分の一に減らしたこと、「150年に1回の洪水に対応できる」ということから「戦後最大の洪水に対応できる」という内容に変更したことが主な理由です。

市は議会の総意として直川用地の活用のためにも浸水対策は必至であり、変更を撤回するよう求めました。その結果、国・県の責任において協議をすることが約束されました。



生産緑地制度

新年度から始まります!

市街化区域で農業を営まれているところでは、農地にかかる固定資産税が宅地並み課税であることから大きな負担となっていました。生産緑地制度を適応すれば農地並課税にできることから、農家のみなさんと共に市議団は渡辺前議員、大畑議員、そして私、森下ちのちがかわるがわる取り上げてきたものです。

農家の方はこの制度を利用すれば固定資産税がかなり軽減できるため農業の後継者育成にも役立つと喜んでいました。今後、制度を利用する上で改善すべき点があればさらに取り組んでいきたいと思っています。

空家修繕の予算を増やし、市営住宅への

八居を増やして!

「市営住宅の募集に申し込むけれどもなかなか当たらない」という相談をよく受けます。

決してくじ運のせいではなく、決してくじ運のせいではなく、そもそも空家募集の件数が少なすぎるのが最大の原因です。今、市営住宅は高齢者の占める割合が高くなっており、4階や3階に住んでいる人は1階への住み替えも大きな課題となっています。修繕に思いついて力を入れ、入居希望や中小業者の仕事作りに応えるべきです。

募集をするためには空家になったところを直し、新しい人が入れるように整備しなければなりません。そのために必要な費用は一戸あたり約100万円です。この修繕費は新たな家賃収入で十分まかなうことができます。それだけ



一緒に考えましょう
日本を改革する道

しん 赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月800円



おきくなあれ
森下ちのの元哉の成長日記



家族とのひとときを楽しく過ごしています。我が家はもっぱら夕食時、テレビを見ながらになりがちですが、リビングに一台しかないテレビを揃って見ます。元哉はどうでも良いことを記憶し、それを真似る能力に長けており、だんらんタイムは元哉のこの能力がフルに生かされる時でもあります。時にはケンカになります。時にはケンカになります。時にはケンカになります。気が付かされています。